

**Q1** 手を洗った後、濡れたままにしておくと細菌を伝播しやすいのでしょうか？

**A1** 濡れた手は乾いた手に比べはるかに多くの菌を運びます。手洗い後に十分に乾燥させることは、重要なことです。

## よくわかる解説

濡れた手は洗わなかった手に比べて移動させる菌の量が多い。ペーパータオルまたはエアタオルで手を十分に乾燥させれば、移動させる菌を90%以上減らすことができます。

手洗い手順における乾燥は「菌を運ばない」ために重要である。

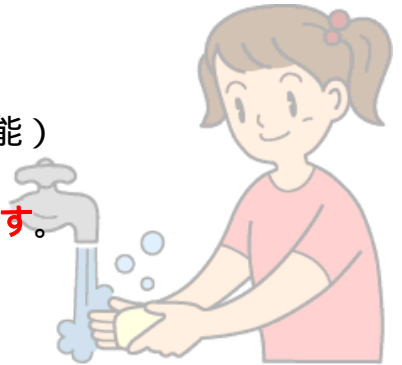
手に付着している菌（2種類）…

- 1、比較的皮膚の表面に付着している通過菌（手洗いで除去）
- 2、表面とともに皮膚の深い層に存在する常在菌（除去は不可能）

手洗い直後にはむしろ手の細菌数は増えており、手の表面の菌が除去された後に手の皮脂腺の奥から常在菌の菌が表面に出てきます。

しかし、十分な乾燥によって菌は減少します。

このことから、手洗い後に手をしっかり乾燥させることは「手の菌を増やさない」ためにも重要です。



**Q2** 疥癬の病院感染をなくすための、リネンの取り扱いや清掃ポイントを教えてください

**A2** 疥癬の患者さんが使用したリネン類は虫卵が飛散しないよう取り扱う。リネン交換や清拭のときはディスポ手袋・ディスポガウンを使用して行いましょう。洗濯は熱水で行うのが最適です

## よくわかる解説

**特徴：**疥癬はヒゼンダニというダニによって起こる感染症です。患者さんの皮膚に直接触れた寝衣や、シーツ類およびケアを行うスタッフの手を介して、感染を広げる可能性があります。

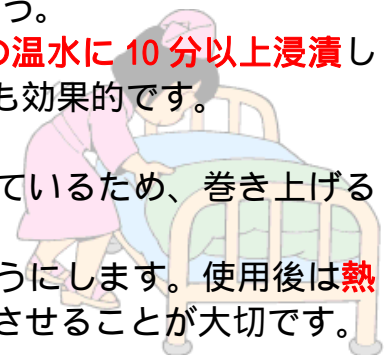
**洗濯方法：**

- 1、虫卵を周囲に撒き散らさないように静かに内側に巻き込むように取り扱い、ビニール袋などの密閉した容器に入れて洗濯に出すようにしましょう。
- 2、熱水洗濯が最もよい。家庭で洗濯する場合には、50以上の温水に10分以上浸漬した後で洗濯しましょう。仕上げにアイロンがけをすることも効果的です。

**清掃方法：**

ノルウェー疥癬の場合は、床に虫卵を含んだ落屑が落下しているため、巻き上げるような清掃をしないようにしましょう。

**入浴：**専用浴室を使用するか、または、最後に入浴してもらおうようになります。使用後は熱水で十分に洗い流した後に通常の浴室洗剤で清掃し乾燥させることが大切です。



**Q3** 結核の患者さんを送送することにになりました。  
N95 マスクを装着させなくてもよいのですか？

**A3** 結核患者が病室から移動するときはサージカルマスクを着用させます。N95 マスクは医療従事者や面会者が患者に接触するときに着用します。

### よくわかる解説

特徴：

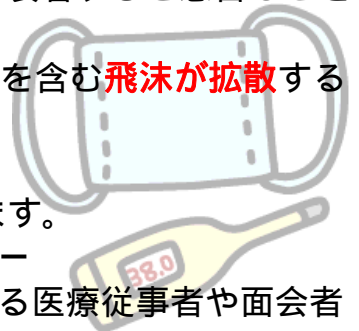
**N95 マスク**：装着してヒトが**空気中に浮遊**している感染性微生物を吸入することを防ぐ **0.3 μm の小さい微粒子を濾過**する性能をもつため、装着すると息苦しさを覚えることがあります。

**サージカルマスク**：装着したヒトの**口や鼻から排出される**微生物を含む**飛沫が拡散**することを防ぐ

肺結核症を発症した患者では、呼吸機能が低下しており、

**N95 マスクを装着させると呼吸状態を悪化**させる危険性があります。

結核患者の口や鼻から出た直後の飛沫は大きな粒子ですから、サージカルマスクで捕獲することができます。結核患者と患者に接する医療従事者や面会者では、装着するマスクの目的が異なっていることを理解し、適切なマスクを選択してください。



**Q4** クロストリジウム・ディフィシルが検出された患者さんの病室の清掃はどのようにすればよいのですか？

クロストリジウム・ディフィシルは略して**CD**と記します

**A4** 接触感染予防のため入念な清拭清掃が必要です。特に便で汚染される可能性のある場所や器材類、患者や医療従事者の手がよく触れる場所については、**0.1% (1,000ppm) 次亜塩素酸ナトリウム**を使用するとよいでしょう。

### よくわかる解説

**発症原因**：**抗菌薬の投与**で高齢者の基礎疾患を持つ患者の抵抗力が低下した場合、**腸内常在菌叢が破綻**することによって起こるとされています。

(一般の健康な人におけるCDの保有率は約7%程度ですが、入院患者では入院1週間で20%を超え、入院日数が延びるほど保有率が高くなります。)

**伝播方法**：医療従事者の手や環境を介した伝播のリスクが高い。**接触感染**

CDは芽胞という膜を持っている菌です。芽胞は乾燥や洗浄剤・消毒薬に対して抵抗性があるため、周囲環境に長く存在します。

**清掃方法**：**患者の便**で汚染されやすい場所、患者や医療従事者の手が触れる場所は**0.1%次亜塩素酸ナトリウム**を用いて

念入りの清拭清掃が必要です。(十分な換気を行う)

便で汚染した場所を放置すると乾燥して芽胞が空中に飛散しほかの環境を汚染するので、静かに拭き取りましょう。

金沢医科大学氷見市民病院ICT発行

